

扶桑菅廟最初
防府天満宮

佐加太利とは御鎮座地天神山の古来名
「酒垂山」からとったものです

佐加太利

平成29年
12月25日号
100号

12	初詣・新春祭事案内
11・10	社務所だより 天神様の夏から秋
9	崇敬会だより 結婚おめでとう ひたぶる
8	天神おんな神輿 結成三〇周年に寄せて
7・6	防府天満宮御分社 三景天満宮創建三〇年
5・4	維新一五〇年特集〔1〕 「櫻園亭」と岡本三右衛門
3	第十回 松崎天神縁起絵巻研究会
2	巻頭言
1	点描
	目次



感謝 社報「さかたり」一〇〇号発行によせて

宮司 鈴木宏明

氏子崇敬者の皆様には常日頃より防府天満宮をご崇敬頂き誠に有難うございます。御祭神「菅原道真公」もさぞお喜びのことと拝察申し上げます。お蔭をもちまして社報「さかたり」は昭和四十年七月に第一号を発行して以来、本号で一〇〇号を迎えることとなりました。六月十二月と年に二度（当初は不定期）のお届けではありますが、五十二年に亘り発行し続けられたのも皆様方の敬神の念の賜物と深く感謝申し上げます。

その間、天満宮や御祭神のこと、御神幸祭をはじめ年間の祭行事、さらには天満宮の四季といった日常や非日常を紙面を通し発信してまいりました。ところが世は進み、最近では紙媒体に代わりインターネットの発達に伴い、情報・お金やモノが一瞬にして国境を越える時代になりました。神社でもホームページなどを情報発信のための道具として積極的に活用しています。今では一国の大統領がフェイスブックやツイッターといった手段を使い、他国に対する主張や反論といった重要なことを発信し、それが公式に扱われるほど国際的な市民権を得るに至っています。

しかしインターネット上にある情報は、あまりの多さと目まぐるしさに、私たちの心に留まることなく、あっという間に過去のものとなり消え去ってしまふような気がしてなりません。インターネットの重要性は理解できますが、今も昔も変わらぬ普遍なものには紙面を通してしっかりと伝えることが大切だと考えています。

当宮では社報「さかたり」一〇〇号を機に体裁をB5版からA4版に、八ページから十二ページに改めました。これからもより丁寧により分かりやすく、より多くの方々にまことを持つて変わることのない「天神さまの精神」をお伝えしていきたいと思っております。

※本ページの天地に掲載した（重文）松崎天神縁起絵巻は、全六巻計約75メートルにおよびます。本号ではその■の部分を紹介しています。



第10回松崎天神縁起絵巻研究会報告

本年七月二十八日
歴史館に於いて
研究者十九名参加

「松崎天神縁起絵巻における文人イメージ」



准教授 城市真理子氏

「絵巻の系統は弘安本と承久本の二系統に分けられる。弘安本の系統を受け継ぐ松崎天神縁起絵巻

において、大宰府でのわびしい生活を表す恩賜御衣の場面で建物の縁側が竹で描かれていることに注目。これは弘安本の系統に見られる描き方で、さらに松崎天神縁起

絵巻では、縁側と庇を支える部分も竹でできている事が特徴的である」と指摘されました。「そして大宰府での道真公の実際の生活を記した文献には、竹に関する記述が一切出てこないにも関わらず竹が描かれている理由として、道真公は亡くなられた後、中国の文人白居易と比肩しうる人物であると評価される。白居易は左遷された田舎の地で竹に囲まれた生活をしており、この話を元に、左遷された侘住いを表すのに竹が投影された暮らし＝竹というイメージがあった」と述べられました。

「新発見の掛幅 天神縁起絵巻の紹介」



太宰府天満宮 禰宜 味酒安則氏

「掛幅天神縁起とは、掛け軸のように壁にかけて見ることができると構造の縁起で、巻物に比べて一度に多く

の人に見てもらうことが出来る。しかし描かれているのは絵のみで詞書が書かれていないため、描かれている場面の絵毎に解説（絵解き）をする人が必要である。太宰府天満宮の場合、上官と呼ばれる神職家が家ごとに持つており絵解きの仕方は家ごとの口伝口授であった。この掛幅は地方縁起ご当地縁起として展開し、集

落ごとに伝わる掛幅が現在でも残っている。今回新たに発見された掛幅を見ると、と絵解きした痕跡がない。当初は人々に見せる事が目的であった掛幅も江戸時代後期くらいから御神体に準ずるものとして扱われ、見せない、開かないという形になっていったのではないかと述べられました。



▲道真公大宰府での住まいの様子。（右）縁側が竹で描かれている
【松崎天神縁起絵巻 第一巻 恩賜御衣】



最後に、文 化庁美術学芸

課朝賀浩氏が今回で十回目を迎えた当研究会について、松崎天神縁起絵巻研究会の中間的総括として、「これまでの成果と絵巻の構成や系統、第六巻に描かれている中世の防府の景観

がどれ位事実を踏まえているのか、制作当初と伝わる絵巻を納める黒漆の箱にも注目して研究を続けていきたい」と今後の方針を述べられ研究会が閉じられた。

▼絵巻制作当初（鎌倉時代）より伝わる箱。鎌倉時代の絵巻を納める箱が残るのは珍しい。絵巻と共に重要文化財に指定



「櫻園亭」と岡本三右衛門

防府天満宮のお膝下、松崎町の松崎幼稚園に「櫻園亭」と書かれた扁額のかかる茶室があります。櫻園とは地元宮市の豪商にして国学家岡本三右衛門の晩年の雅号に由来するものと言われています。その茶室を覗いてみると、櫻園こと三右衛門の肖像画、三右衛門旧邸「櫻園亭」の平面図と「贈正五位勤王家岡本三右衛門翁寓居 櫻園亭」と書かれた三右衛門を顕彰する銘板があります。

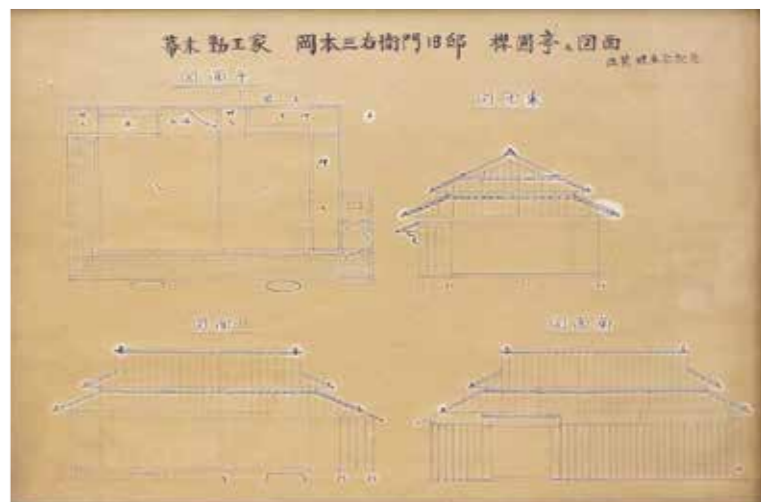
今松崎幼稚園に伝わる「櫻園亭」から維新の志士たちと共に家業をかけて維新前夜を駆け抜けた岡本三右衛門についてお伝えしたいと思います。

現在の櫻園亭

三右衛門の別邸「櫻園亭」は、維新の一端を担った歴史的建物として後世に保存しようとして、昭和六年七月に有志の人たちが当時の所有者安富ヒサヨに譲り防府天満宮に寄付され、有志の方々の熱心な扶助にて多額の移築費用を捻出し、昭和九年七月に当宮表参道東側に移築竣工しました。



▲櫻園亭が現在の松崎幼稚園敷地へ移築された時に掲げられた扁額。今は園内茶室の入り口にかかる



▲櫻園亭の平面図

しかし先の大戦後神社の手も届きにくく荒廃したため、神社と安富氏の協議により昭和三十年八月岡本家とも縁のある協氏が理事長を務める松崎幼稚園に移築（一部改修）して保存されました。現在は老朽化が進み、残念ながら解体されてその姿を見ることはできませんが、同園内にある茶室にその名と共に維新の香を残しています。



▲顕彰銘板

幕末の櫻園亭

三右衛門は、十八歳の時に当宮神官鈴木直道に入門し国学を学び、古典の研究を通じて日本古来の道を説き、やがて復古主義に発展し、尊皇攘夷に傾倒していききました。櫻園亭はまさにその国学を勉強し深い思想が培われた場でありました。その他にも国学を学ぶ志士や志士に協力する人々が現れましたが、中でも三右衛門は吉田松陰も一目置く人物になっていました。高杉晋作や久坂玄瑞ら多くの志士達もこの亭に集まり、議論を交わし宿泊したのでした。

特に久坂玄瑞と親交が深く、元治元年（一八六四）の玄瑞の日記には「本居宣長、平田篤胤の国学の諸先輩を信じ、大いに天朝の尊きを知り、幕吏（幕府の役人）の暴拳を深く憤り、市井間の人に非ざるなり」と三右衛門を高く評しています。文久二年二月二十一日、玄瑞は三右衛門に「三十両位、右早々天下の為御弁じ下されたく推してお願ひ仕り候」「天下の為に候得ば御蔵書にても御売り払い在らせらるべく」と、志士の活動資金を得るために蔵書をはじめ家伝の書画に骨董に至るまで私財を売り払ってでも工面して支えたのでありました。その結果、家産を傾け生活は困窮し綿商をやめるまでに至ってしまいました。

果たして三右衛門は高杉や久坂たちに言われるがままに資金を工面していたのでしょうか。松崎幼稚園茶室に掛かる顕彰板には「翁（三右衛門）毅然として奮起し、勤皇憂国の志士を扶助するを以て己が任とす」と記されています。志士が自分の「命」に代えてまでも世の変革に突き進む姿に、それが叶わぬ三右衛門は「家業」に代えて突き進む自らの姿を重ねていたのでありました。



▲岡本三右衛門肖像画

頌徳碑

三右衛門を顕彰する頌徳碑が天満宮表参道より東へ百m程の所にある芦樵寺山門前にあります。大正元年十二月、有志の人々によって三右衛門の墓の側に「贈五位岡本三右衛門碑」が建立され、その後岡本家の菩提寺である芦樵寺境内に移設されました。昭和六年には記念碑裏に三右衛門の略歴版が埋め込まれていました。現在は、岡本三右衛門の功績をより多くの方に知ってもらおうという住職の意向で旧山陽道沿いの山門前に移されました。



▲芦樵寺山門前に建つ頌徳碑



▲頌徳碑

周辺の人々が志士達の支援したことを藩に訴え、文久三年（一八六三）七月に「皇国の学を嗜み、多年尊皇攘夷の大義を主張し、有志の為に相成候由」と三右衛門は扶持方二人分（米十俵）を賜り、永代苗字と帯刀を許されたのでした。晩年は吟詠自適の生活を送り、明治十年十二月十五日病死享年六十九歳。生前の志士達への功績が認められ、明治四十四年六月一日に正五位が贈られました。

岡本三右衛門 文化六年（一八〇九）十一月二十三日宮市（防府市）生まれ。諱は豊嗣、通称は初め八十八、後に三右衛門と改め、櫻園と号す。



御鎮座30年大祭・黒田宮司祝詞奏上

祭場へ黒田麻零欄宜が先導する。



当宮巫女により天神の舞「榊舞」を奉納。北海道では榊が生育しない為、一般的に祭典では榊の代わりにもみの木が使用されている。

敬神の碑

御鎮座30年を記念して、鈴木宏明宮司揮毫の「敬神」の碑が社殿横に建立された。



写真右から鈴木宮司夫妻、当宮責任役員杉本一彦氏、宇野好一氏が敬神の碑を除幕した。



平成29年5月22日御鎮座30周年記念大祭を終えて（写真中央が黒田和俊宮司）



防府天満宮御分社

三景天満宮創建30年

滝上神社前庭に鎮座した三景天満宮（創建当時）

三景の由来
三景の「三」は天・地・人を表し、防府・北海道・滝上を意味する。合わせて日本三天神防府天満宮の三にあやかる。
「景」は、光・大きい・めでたい（福）という意味があり、防府の天満宮・滝上の天満宮、また防府市、滝上町が益々大きく芽出度く発展する願いが込められている。

三景天満宮由緒
三景天満宮は滝上町に鎮座する滝上神社の境内の一角に昭和六十三年五月防府天満宮御祭神菅原道真公の御分霊を戴き設立された。これは滝上神社黒田和俊宮司の発願によるもので、昭和六十三年二月、二十四名からなる防府天満宮御分霊勧請奉迎団が来防し、防府天満宮より御分霊を拝戴。同年当宮鈴木健一郎宮司他、神職・巫女を始め、防府市議会議員十一名も訪町し、鎮座祭並びに鎮座奉祝祭が盛大に執り行われた。



三景天満宮から望む「芝ざくら滝上公園」

三〇年の歩み
昭和六十三年二月二十六日 御分霊勧請奉迎団一行二十四名が御分霊を拝戴し帰町後滝上神社に仮遷座する。同年四月 社名を「三景天満宮」と命名。同年五月初旬 社殿・社務所・鳥居・神池太鼓橋が完成。神牛・神馬像が奉納される。同年五月二十二日 御鎮座奉祝祭を斎行にあたり、御本社鈴木健一郎宮司以下職員八名が訪町、遷座祭と鎮座奉祝祭が盛大に斎行される。平成八年四月二十三日 御本社鈴木宏明宮司が訪町、滝上神社・三景天満宮正式参拝。平成十九年五月二十二日 御鎮座二十周年記念大祭を斎行。平成二十三年六月六日・十三日 御本社職員全員が正式参拝。平成二十四年十一月二十四日 黒田宮司以下七名が御本社御神幸祭（裸坊祭）に参列。平成二十六年六月十五日 滝上神社創祀百年祭を斎行。御本社より鈴木宮司夫妻、職員、総代総勢十一名が参列。平成二十九年五月二十二日 御鎮座三十周年記念大祭を斎行。御本社より鈴木宮司以下総勢二十名が参列。

たきのうえちよう
滝上町は…

北海道紋別郡滝上町は旭川市と紋別市の間にあり、人口約2700人（平成29年10月現在）。主な産業は林業と農業です。特にハッカの生産量は日本の95%を占め日本一の生産量を誇ります。また、観光資源にも恵まれ市街地中央にある「芝ざくら滝上公園」は、広さ10万㎡と日本最大級を誇り有名です。その他滝上渓谷「錦仙峡」や「浮島湿原」などあり、四方を山に囲まれた自然豊かな町です。



昭和63年2月26日 奉迎団一行、御分霊奉遷祭を終えて（於当宮客殿）



御分霊奉遷祭の様子



昭和63年5月22日名物の10万㎡の芝ざくらが満開の中、御鎮座奉祝祭並びに奉祝行事が執り行われた。



昭和62年 第1回天神おんな神輿 結団式

心なわせい



結成三十周年に
寄せて

天神おんな神輿の会会長 平川 由野

「神輿をあげます」。声がかれても肩が痛くても、この一声に応える担ぎ手たちの目の輝き。熱気とこぼれる笑顔。毎回新たな感動を覚えます。

天神おんな神輿は御神幸祭の昼間をにぎやかに盛り上げてまいりました。毎年、市内外から二百名近い担ぎ手が参加、平成二十六年からは「土曜日の裸坊、日曜日のおんな神輿」として日曜日に奉納。本年も十一月二十六日に無事に納めさせていただきました。

会は昭和六十二年に発足、今年三十周年を迎えました。この間、それまで伝統文化になじみの薄かった女子たちも神社や祭りについて学び、神輿渡御は神様のリフレッシュ、パワーチャージであり、担ぐ我々もご加護をいただくことを知りました。一緒に担いだり準備をしたりする中で、年齢や職業の枠を超えた「神輿つながり」の縁を育ててまいりました。そして「防府名物」のひとつとなり、やまぐちきらら博、国民文化祭やまぐち、世界スカウトジャンボリー山口大会などで神輿振りを披露する機会にも恵まれ、平成二十七年からは防府市「春の幸せますフェスタ」の核として「おんなみこし連合渡御」が始まりました。呼びかけに応じて集まってくれる、市内はもとより全国各地からの担ぎ手たちと心を合わせて、「おんな神輿の聖地」となれるよう楽しく回を重ねていきたいと思います。

これからも皆様のご高配ご支援への感謝を忘れず、「御神幸祭がすまんと正月は来ん」防府最大の祭りの一端を担う光栄をわきまえて、元気なご奉仕を志し努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

春の幸せますフェスタ

平成29年 第30回天神おんな神輿奉納



天神様から「幸せます」

※幸せますは山口の方言で「ありがたい」とか「嬉しく思う」との意味があります。

境内清掃奉仕

- 7月22日 松崎佐波両地区子供会
- 8月6日 マツダ(株)防府工場、(株)プリズトン防府工場、防府商工高等学校、お伽衆
- 10月2日 松崎地区老人クラブ
- 11月17日 (株)銘建
- 11月26日 マツダ(株)防府工場、防府街商組合

奉納品

- 8月6日 瓢箪
- 9月23日 錦鯉四十六匹
- 11月21日 「夢叶う牛」臥牛像
- 12月5日 干支の御柱 (P12掲載)

代表取締役 中司達美様
協同重機(有) 代表取締役 羽嶋天平様

代表取締役 林 隆雄様



除幕を終えた中司社長(写真右)と羽嶋秀一会長(写真中央)と宮司

崇敬会だより

第十回研修旅行のお知らせ

当会も今年で十六年目入り、世帯数五八〇世帯、会員数一八〇二名にも及び皆様の篤い崇敬のお心に支えられておりますこと厚く御礼申し上げます。これからも職員一同、崇敬会員の皆様との交流を大切にし、天神様との仲執り持ちとしてご奉仕してまいります。当宮にご参拝の折には境内説明も致しますので、どうぞお気軽にお声掛け下さいませ。

来る平成三十年二月二十六日(月)〜二十七日(火)を

実施致します。今回は大政奉還を成し遂げた薩長土肥、その中でも鹿児島方面を予定しております。照国神社や南洲神社等維新関連の場所を訪れたいと思っております。未入会の方もこれを機にご入会、ご参加をお待ちしております。入会ご希望の方は、同封の「崇敬会のすすめ」をご覧ください。

新規会員紹介

平成二十九年六月一日以降入会の方々です。(敬称略)

家族会員

- 吉武 兎 群馬県下仁田町
- 久岡千夏 下関市豊田町
- 本永茂貞 山口市深溝
- 山田一男 防府市松原町

個人会員

- 井上隆夫 山陽小野田市
- 内田典孝 山口市小郡上郷
- 鳥越友介 岩国市岩国
- 小田好人 防府市西浦
- 上田好子 大島郡周防大島町
- 神車佳宏 広島市西区

詳しくは、社務所へお問合せ下さい。(担当・一木、峯)

ご結婚おめでとう

平成29年(敬称略)

- 6月10日 菅原 佳樹・千穂
- 11日 中司 祥太・香織
- 17日 渡邊 優平・温子
- 23日 宮野 真生・あや
- 24日 宮野 貴史・由利子
- 28日 大野 泰平・七奈子
- 29日 石川 貴彬・一恵
- 7月 石井 伸行・祐子
- 25日 原田 知岳・明佳
- 28日 橋本 遼太・舞
- 29日 松永 弘・桂子
- 8月 岡崎 靖・乃理子
- 13日 大村 琢馬・可菜
- 9月 岩淵 拓也・千裕
- 2日 ケヒンクワスト・静香
- 9日 田中 雄大・久実
- 10日 江浪 健悟・唯
- 16日 峯 和生・千穂
- 17日 児林 圭輔・美登里
- 23日 渋谷 壮平・晶子
- 10月 中野 翔太・日出子
- 1日 下瀬 要也・華子
- 7日 平岡 勇紀・由加里
- 11日 村田 浩明・愛裕美
- 14日 石川 文治・文佳
- 22日 上田 晃宏・幸恵
- 28日 萩原 健一・陽子
- 11月 池永 和貴・佳代
- 3日 松本 直章・由紀子
- 11日 吉延 和也・香里
- 12日 森重 直樹・優花
- 19日 三宅 陽一・藍子
- 12月 中島 和也・奈央美
- 2日 本廣 裕一・亜希子
- 2日 中野 悦矢・夢実子

※お二人の末永い幸せをお祈り致します。お二人の結婚式のお申込みは随時受付しておりますので、社務所へお問い合わせ下さい。

ひたぶる

権禰宜 一木孝史

県内の小・中学校から雅楽教室と称して管絃や舞楽の披露を依頼されることがよくある。

舞楽の装束は、日本独特の文化としてすでに平安時代に完成の域に達し、約千年にわたりその形が継承されている。全体に複雑な紋様や精巧な刺繍が施されており、それ自体が芸術品と言え日本の服飾文化における最高の技術を今に伝えている。

舞楽装束を実際に着てみると何枚も重ね着をするため、せつかつの紋様や刺繍が見えなくなってしまう部分が多い。なぜわざわざ隠れる部分にも手間と時間をかけ装飾を施すのだろうか。

日本人は昔から見えない部分を大切にしてきた。たとえ人目には触れなくても、そこには作り手の高い美意識と気配り、几帳面さがあり、決して手を抜かない繊細な心がよく表れている。神様も目には見えないが、心や体で感じられる優れた感性を日本人は誰しも持っている。

先人達が培ってきた見えぬものを大切に心を、舞楽を通してこれからも子供達に伝えていきたい。

七夕まつり

が行われ、今年より新企画として大専坊にて「山口の日本酒好き酒まつり」を開催。利酒師・太刀川芳恵氏による「日本酒の味わい方講座」を拝聴した後、山口県酒造組合のご協力のもと県下全二〇銘柄の日本酒を取り揃え限定八〇名の方々に薫り高い山口のお酒を楽しんで頂きました。参加者は皆熱心に興味ある銘柄とその感想をチェックしておられました。



その他、夜空に光る風船を使ったアートイベントも登場し年々彩りあるまつりに発展しています。協賛頂いた各社に感謝申し上げます。

花神子社参式

ご奉仕有難うございました。



花神子役 松浦百夏さん



大行司役 藤井達哉氏



小行司役 清水博道氏

御神幸祭(裸坊祭)



大祓詞浄書会

の喧騒を離れ、茶室という静かな空間で八一文字の大祓詞を一字一字心を込めて浄書し「深い一日」を過ごされました。

この会は四日間一四名限定。午前十時より大祓詞の説明、正式参拝大祓詞奏上の後浄書開始、日本料理「中しめ」の素敵なお弁当で昼食、午後三時には書き終え、お抹茶で一服し解散というプログラムです。



日誌抄 (平成二十九年)

毎月1日 月次祭・朝粥会 毎月15日 月次講社祭 毎月25日 月次祭・天神市(緑日)・月次茶会	6月1日~7月15日 筆まつり七夕書道展 1日 梅ちきり(双葉幼稚園保育園・敬神婦人会奉仕)・栄町自治会天満宮合同防火訓練 2日 役員会 3日 普公みらい塾(於大専坊) 4日 YIC看護福祉専門学校七夕まつり牛乳パック灯籠作成会 5日 職場体験佐波中学校生徒2名 6日 敬神婦人会七夕飾り作成奉仕 7日 夏越神事・大祓式・お田植祭 8日 月次茶会裏千家増田宗保先生御奉仕	7月1日~7日 七夕まつり 1日 光の奇庭・松崎地区母子保健推進協議会・双葉幼稚園・瑞祥幼稚園七夕参拝飾り奉納(期間中) 2日 1日ひこほし★おりひめコンサート・七夕茶会・1・2日360度全天球パノラマ画像を迫力の画面で見よう!・2日筆祭並び七夕書道展表参式・光る風船で天の川、山口の日本酒好き酒まつり、7日七夕祈願祭 3日 光る風船を持って歩こう 4日 熊本県神社庁宇土支部長・波多神社宮司阿曾田保徳正式参拝 5日 奉納清書展審査会 6日 防府天満宮勝ち牛杯氏子対抗ゴルフ大会 7日 天神囃子梅っ子おはやし合宿 8日 月次茶会表流水月会防府支部御奉仕 梅の土用干し	8月3日~5日 御誕辰祭 3日 万灯の夕べ・ピアガーデン・浴衣茶会敬神婦人会奉仕(期間中)・3日万道大会・奉納清書報告祭並び同展表参式・剣道大会・子供博覧会・カラオケ大会・防府天神太鼓奉納演奏・大茶碗茶会山本百次会御奉仕・4日豊稗祈願祭・夫婦円満祈願祭・柔道大会・遠的弓道大会・古武道大会・浴衣&歌謡コンサート・5日御誕辰祭当日祭・和太鼓奉納演奏・クラブを楽しくしよう 4日 少年剣道大会・邦楽コンサート・大花火大会(花火大会会場奉仕3団体61名様・マツダ防府工場・お伽衆・氏子青年部若梅会)防府天満宮OB会酒垂会正式参拝 5日 京都府北野天満宮西之京瑞穂神輿保存会会長佐伯昌和様ご夫妻正式参拝 6日 月次茶会裏千家林宗洋先生御奉仕 7日 お頼み会 8日 防府菊花会総会	9月 9日 お手廻り保存会宣誓式 10日 鈴虫放生祭 11日 第三十八回防府天満宮杯将棋名人戦、防府天満宮勝ち牛杯氏子対抗ゴルフ大会	10月 1日 朝粥会二十周年 2日 職場体験桑山中学校生徒2名 3日 印章祭・花神子社参式役付児童説明会 4日 東京都足立区江北水川神社30名様正式参拝 5日 池坊花神子社参式奉祝花展 6日 花神子社参式・奉祝茶会山本百次会奉仕 7日 裸坊安全協議会 8日 愛情防府フリマ協賛第八回奉納書道パフォー・マンス・天神芸術村(出店)飲食・小物雑貨	11月 1日 巫女神楽舞研修(講師先崎修子先生) 2日 毛利家秋祭、御神幸祭供奉員会 3日 氏子青年部若梅会注連縄奉製 4日 敬神婦人会研修旅行(愛媛県伊豫豆比古命神社) 5日 月次茶会煎茶専心小笠原山口県中部支部御奉仕 6日 注連縄奉製作業高川学園中学生50名体験奉仕 7日 役員総代研修旅行(鳥取県美保神社) 8日 テクノ民謡ユニットネオパレード上領巨様・若狭さくら様正式参拝 9日 第六十二回奉納菊花展 10日 防府支部大旗旗布始祭(於参集殿) 11日 防飛二期慰霊祭 12日 第三十五回防府天満宮杯奉納少年野球大会 13日 大祓詞浄書会(ブレ)於茶室芳松庵 14日 第六十二回奉納菊花展表参式 15日 裸坊実行委員会 16日 みどり保育園25名七五三詣参拝 17日 西佐波保育園25名七五三詣参拝 18日 七五三 19日 注連縄取付・大祓立て 20日 おはげ、社本庁、「清和会」一班20名様・大小行司夜々詣 21日 東京都亀戸天神社神輿総代社属「登川陸」10名様正式参拝、天神おんな神輿説明会 22日 菊花無料切り分け 23日 御神幸祭蔵出し・祭具大祓 24日 御神幸祭前夜祭 25日 御神幸祭(裸坊祭) 26日 御神幸祭(裸坊祭) 27日 奉納・奉納邦楽演奏会 28日 破魔矢奉納始	12月 1日 東京都國學院大学理事長坂口吉一様正式参拝 2日 例祭併せ神宮大旗旗布始祭、節分参予会、干支の御社奉納式 3日 大祓詞浄書会(他14日・19日・21日開催) 4日 合格はちまき洗濯 5日 煤払い・敬神婦人会奉仕 6日 天神おんな神輿写真コンテスト表彰式 7日 古絵馬焼納神事 8日 正月臨時巫女奉仕者説明会 9日 年越大祓式
--	--	---	--	--	--	--	--

天神様の夏から秋

御誕辰祭



▲大花火大会



▲万灯の夕べ

鈴虫放生祭

は昨年野村望東尼没後一五〇年を記念し始め

られ、本年も望東尼にゆかり深い大専坊にて行われ遺徳を偲びました。当日は防府野村望東尼会岡本早智子会長、望東尼研究会谷川佳枝子先生が巫女と共に鈴虫坂近くの大専坊の庭に鈴虫を放ちました。



式典保存委員長・責任役員・総代ご紹介(敬称略)

- 式典保存委員長 宇野好一 八月五日付
- 責任役員 村田敏夫 八月一日付
- 崇敬者総代 渡邊篤夫 八月一日付
- 福森健二 十一月一日付
- 宜しくお願い致します。

TOPICS 空守(航空安全)米国に渡る

飛行・旅行の安全を祈願し奉製致しました。市内には航空自衛隊の教育基地があり、隊員や学生たちからも天神様は受験の神様です。「落ちない」お守りとして評判です。

また去る10月11日12日の両日、航空自衛隊防府北基地で行われた隊員研修に訪れた在日米軍及び第五空軍最先任上級曹長テレンス・A・グリーン氏に山頭彰北基地司令より「空守」が手渡されました。

同曹長はトランプ大統領からも特別に称賛される人物と聞き及んでいますが、「空守」には大変喜ばれ、お守りを通し日米の絆を深められたとのこと。



年の始は天神様への初詣から

当宮では、一年の幸せを願い元旦より受験合格・家内安全・交通安全・厄除などの年頭祈願祭を執り行っております。同封の「新春に祈りをこめて」の初詣祈願祭受付書や「厄除けの勧め」の厄除星祭祈願受付書に必要事項ご記入になりご参拝下さい。御参拝できない時は、郵送でも受付けております。また、会社企業様の仕事始めである「事業所年頭祈願祭」は予約を受け付けておりますので、詳しくは社務所までお尋ね下さい。

交通規制について

元日から三日まで当宮周辺は交通規制があります。同封の「防府天満宮初詣おもてなしMAP」をご覧頂き、安全にご参拝下さい。



▲初詣でにぎわう社頭



▲干支の御柱
表参道に来年2月10日まで設置。

平成30年 新春の祭事行事

- 歳旦祭 一月一日 午前三時より
 - 祈始式 一月五日 午後三時より
 - 七草粥の会 一月七日 午前六時三十分より
 - 弓始式 一月八日 午後一時より
 - 貞宮遙拜式 一月十一日 午前十時より
- *****
- 節分祭・牛替神事 二月二日・三日
 - 梅まつり 二月十八日～三月四日
- (二月下旬から三月上旬が見ごろ)



▲弓始式



▲祈始式



▲梅まつり



▲節分祭

さかたり第100号
平成29年12月25日発行

発行所 防府天満宮社務所

〒747-0029山口県防府市松崎町14-1
TEL 0835-23-7700 FAX 0835-25-0001

防府天満宮

検索

facebook

twitter